

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1】

授業作り	重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の向上を図る。</li> <li>・各教科においてICT機器を効果的に活用し、全ての児童にとって「分かる授業」を展開する。主体的・対話的で深い学びのできる児童を育成するため、各教科を通して思考力・判断力・表現力が育む指導の充実を図る。昨年度に引き続き、児童同士が互いの考えを伝え合い、深く考えることで、共に学び合う児童を育成する授業作りをしていく。</li> </ul>
環境作り		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習目標や学習活動の明確化、見える化や振り返りができる提示の工夫、欠席者への配慮等、ユニバーサルデザインの視点を生かした学習環境づくりを進める。</li> <li>・各教員がICT機器を活用した実践などを紹介し合い、よく分かる楽しい授業に向けて改善に努める。</li> </ul>

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名や片仮名、漢字を正しい筆順で丁寧に書くことができる。</li> <li>・文章を音読することができる。</li> <li>・具体物や数ブロックなどの半具体物を使って数を数えたり、加法・減法の簡単な計算をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 空書き、なぞり書きなどのステップを踏みながら指導する。</li> <li>② 追い読み、交代読みなど様々な音読方法を取り入れ、繰り返し読む指導を行う。</li> <li>③ 具体物や半具体物を操作したり、練習問題を繰り返し行ったりして、定着を図る。</li> </ul>
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科については、漢字を筆順通りに正しく丁寧に書くことができる。様々な文章表現に触れ、想像を豊かにし、語彙を増やす。</li> <li>・算数科については、たし算やひき算の筆算が正確にできる。かけ算九九を正しく覚えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎日新出漢字の学習に取り組み、漢字のミニテストを行いながら、定着を図る。</li> <li>② デジタルドリルや計算問題に繰り返し取り組み、定着を図る。</li> </ul>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科は、漢字の読み書きなどの基礎は、全国平均を超えおおむね定着しているが、記述式の問題に対しては平均を約10ポイント下回り、課題である。</li> <li>・算数科は、全体的に全国平均を5ポイント以上下回っている。たし算とひき算、かけ算などの計算を正確に行う力を付けることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科における書くことについては、個人差が大きい。目的に応じて文を書いたり、自分の意見や考えを表現したりする力の育成が必要である。</li> <li>・算数科は、たし算とひき算、かけ算などの計算のきまりを理解し、正確に計算できる力が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 週1回程度のミニテストやデジタルドリルなどを活用する。</li> <li>② 児童が見通しをもって書くための例文を提示する。</li> <li>③ 立式する際の具体物、図、数直線などを活用する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科は全国平均とほぼ同じで概ね達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を問われているのか、必要な情報を落</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 朝読書の時間を効果的に活用する。</li> </ul>

<p>4 学 年</p>	<p>成しているが、言葉の特徴や使い方の単元で平均を大きく下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数科は全国平均を上回りおおむね達成しているが、加法減法の計算や数量関係を式に表す設問で平均を大きく下回っている。</li> </ul>	<p>とさずに読み取る力の育成が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な計算問題を正確に解く力を身に付させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 音読を習慣付ける。</li> <li>③ 読む力を付ける課題設定を工夫する。</li> <li>④ デジタルドリルを活用する。</li> </ul>
<p>5 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数科の知識・技能は区平均を上回っているが、はかりの目盛りの読み方と重さの単位換算、数量関係の問題で区の平均を下回っている。</li> <li>国語科は、全国と区平均ともに上回っているが、記述式の問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を正しく書き、ことわざや慣用句などを使わせる必要がある。</li> <li>四則計算を確実に理解する力を身に付ける必要がある。</li> <li>関数の学習に課題がある。2つの数量を表にまとめ、表をたてに見るなど関係を見い出せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 朝学習の時間に漢字のミニテストを実施する。</li> <li>② ことわざ、四字熟語などの伝統的な言語文化を紹介する。</li> <li>③ 辞書を活用し、語彙を増やす。</li> <li>④ デジタルドリルを活用する。</li> <li>⑤ 丁寧に書くことや見直しを徹底させる。</li> <li>⑥ 各教科の学習で考えの根拠となる資料を用いて書く学習を設定する。</li> </ul>
<p>6 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の正しい段落構成を選んだり、工夫を読み取ったりする学習に課題がある。</li> <li>言語の特徴や使い方において課題がある。</li> <li>言語の知識技能のポイントは比較的高い傾向にある。</li> <li>平面図形や数量関係、そしてそれらを活用する学習において二極化の状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や言語への理解は十分にあるが、物語文や説明文を段落ごとに適切に読み取る力を付ける必要がある。</li> <li>計画的に漢字や言語の確認テストを行い、知識技能の向上を続ける必要がある。</li> <li>習熟度別学習を効果的に行い、児童の算数的な思考力の底上げが必要である。</li> <li>タブレット端末における二次元コードを継続的に活用し、視覚的に理解を深める活動を取り入れる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 読書の時間を効果的に活用する。</li> <li>② 読書の時間において文章の要旨の書き出しやスピーチを活用する。</li> <li>③ デジタルドリルを活用する。</li> <li>④ 継続したグループ学習を設定する。</li> </ul>
<p>特 別 支 援</p>			